

平成27年3月31日

『工事の総合評価落札方式に係る一部運用の見直し』  
【平成27年度4月期】について（お知らせ）

九州地方整備局港湾空港部におきましては、港湾・空港工事の発注手続きにおける総合評価落札方式の定着・拡充を図るため、別添のとおり一部運用の見直しを行い、平成27年4月1日以降に公告する案件より適用することとしておりますので、その旨、お知らせいたします。

なお、見直し内容につきまして、確認したい事項がありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡願います。

また、個別工事に関する質問につきましては、通常の手続き中の問い合わせをご活用頂ければ対応いたしますので、その旨、申し添えいたします。

（問い合わせ先）

国土交通省九州地方整備局

港湾空港部 品質確保室

TEL:092-418-3354(直通)

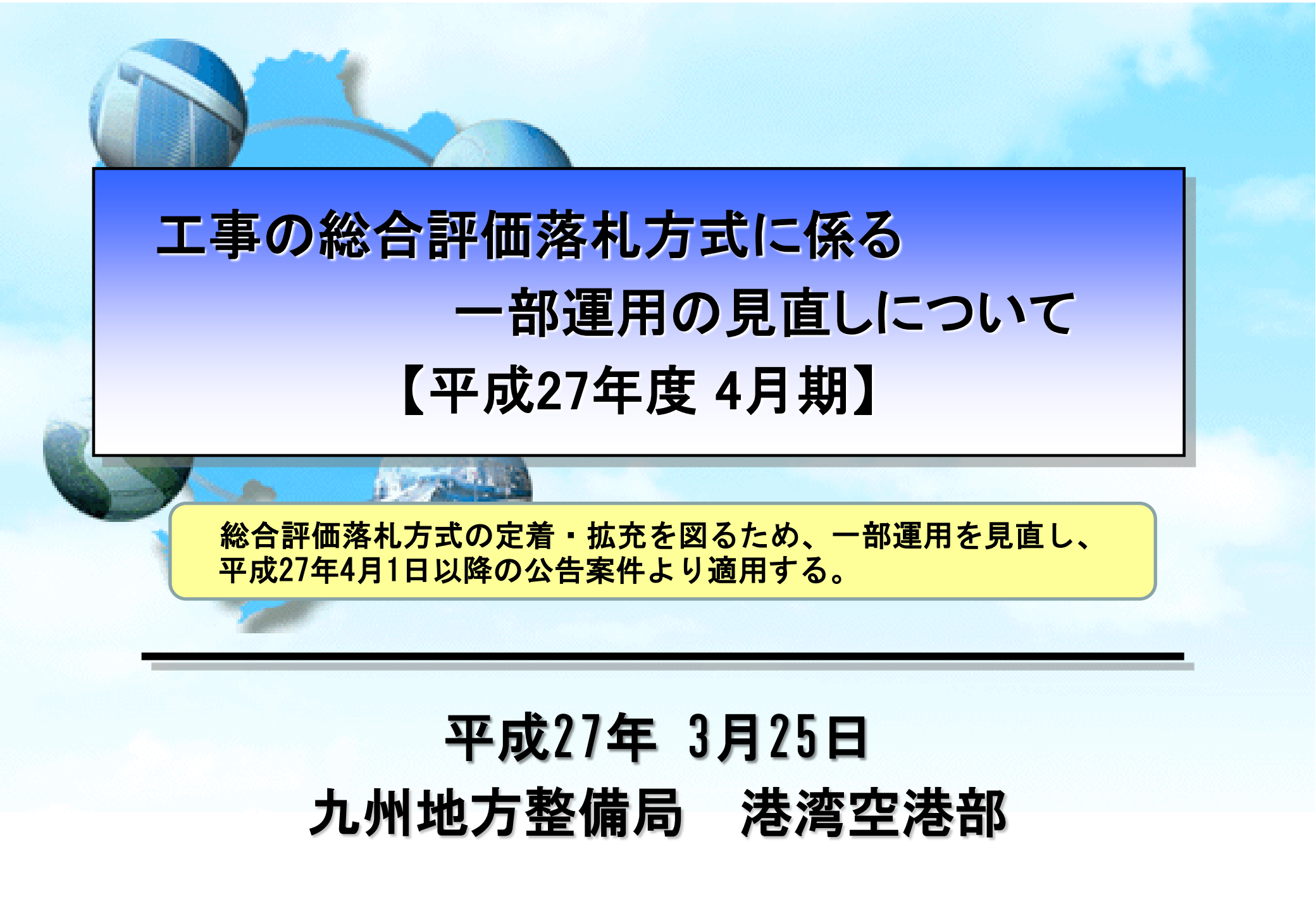
FAX:092-418-3050

品質確保室長

やなぎだ かずき  
柳田 和喜(内線410)

品質確保室課長補佐

ほんだ かずゆき  
本田 一行(内線411)



**工事の総合評価落札方式に係る  
一部運用の見直しについて  
【平成27年度 4月期】**

総合評価落札方式の定着・拡充を図るため、一部運用を見直し、平成27年4月1日以降の公告案件より適用する。

---

**平成27年 3月25日**  
**九州地方整備局 港湾空港部**

# 見直しの内容



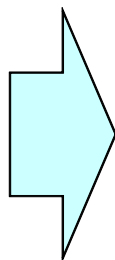
1. 技術提案評価の評価基準の見直し
2. 施工能力評価型(Ⅱ型)のタイプの追加
3. 評価基準の追加・修正等
  - 1)「技術アドバイザー体制の評価」項目の追加
  - 2)「前年度1年間の技術提案について工種別における得点取得率の評価」項目の追加
  - 3)「表彰(優良施工・安全施工)」表彰内容の追加
  - 4)使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況の一部評価の見直し
  - 5)配置予定技術者の資格について一部評価の見直し
  - 6)「評価しない技術提案の事例」の追加・修正
4. 参加資格要件等の緩和
  - 1)参加資格要件の緩和
  - 2)工事実績(同種性)の施工実績数量等の緩和
5. その他
  - 発注の見通しの公表

# 1. 技術提案評価の評価基準の見直し

技術提案の評価において、評価にメリハリをつけるためよりきめ細やかな評価を行う

【技術提案の「有効性」、「確実性」、「具体性」の組み合わせによる最終判定及び評価点】

最終的な「評価」の判定	「有効性」、「確実性」、「具体性」の組み合わせ		
	有効性「a」の場合	有効性「b」の場合	有効性「c」の場合
A評価 (5.0点)	aaa		
B評価 (4.5点)	aab aba		
C評価 (4.0点)	aac abb aca	baa	
D評価 (3.5点)	abc acb	bab bba	
E評価 (3.0点)	acc	bac bbb bca	caa
F評価 (2.5点)		bbe beb	cab cba
G評価 (2.0点)		bce	cac ebb cca
H評価 (1.5点)			cbc ccb
I評価 (1.0点)			ccc
「-」評価	標準案と工事の品質が同等		



10段階

最終的な「評価」の判定	「有効性」、「確実性」、「具体性」の組み合わせ				
	有効性「a」の場合	有効性「b <sup>+</sup> 」の場合	有効性「b」の場合	有効性「c <sup>+</sup> 」の場合	有効性「c」の場合
A評価 (10.0点)	aaa				
B評価 (9.0点)	aab aba				
C評価 (8.0点)	aac abb aca	b <sup>+</sup> aa			
D評価 (7.5点)			baa		
E評価 (7.0点)	abc acb	b <sup>+</sup> ab b <sup>+</sup> ba			
F評価 (6.5点)			bab bba		
G評価 (6.0点)	acc	b <sup>+</sup> ac b <sup>+</sup> bb b <sup>+</sup> ca			
H評価 (5.5点)			bac bbb bca	c <sup>+</sup> aa	
I評価 (5.0点)		b <sup>+</sup> bc b <sup>+</sup> cb			caa
J評価 (4.5点)			bbe beb	c <sup>+</sup> ab c <sup>+</sup> ba	
K評価 (4.0点)		b <sup>+</sup> cc			cab cba
L評価 (3.5点)			bce	c <sup>+</sup> ac c <sup>+</sup> bb c <sup>+</sup> ca	
M評価 (3.0点)					cac ebb cca
N評価 (2.5点)				c <sup>+</sup> bc c <sup>+</sup> cb	
O評価 (2.0点)					cbc ccb
P評価 (1.5点)				c <sup>+</sup> cc	
Q評価 (1.0点)					ccc
「-」評価	標準案と工事の品質が同等				

18段階

## 2. 施工能力評価型 (II型) のタイプの追加

評価の視点	評価項目	施工能力評価型 (II型)				
		施工体制 確認型以外	施工体制確認型 (標準型)		施工体制確認型 (A型)	
			作業船を使用 する工事	作業船を使用 しない工事	作業船を使用 する工事	作業船を使用 しない工事
必須	工事实績(同種性)	◎				
	工事成績	◎				
	表彰(優良施工・安全施工)	◎				
	使用作業船の保有形態及び 環境性能達成状況	◎		◎		
③企業の施 工能力	オープン	施工機械等の自社保有状況		○		○
		関連分野の技術開発の実績	○	○	○	○
		ISOの認証取得状況	○	○	○	○
		建設業労働安全衛生マネジ メントシステム等の認証取得 状況	○	○	○	○
		下請予定者の表彰実績	○	○	○	○
	必須	技術的所見力の評価	○	○	○	○
		技術提案力の評価	○	○	○	○
		工事の手持ち状況	○	○	○	○
		技術アドバイザー体制の評 価			○	○
		技術提案の得点取得率の評 価			○	○
その他						

評価の視点	評価項目	施工能力評価型 (II型)								
		施工体制 確認型以外	施工体制確認型 (標準型)				施工体制確認型 (A型)			
			作業船を使用 する工事	作業船を使用 しない工事	作業船を使用 する工事	作業船を使用 しない工事	作業船を使用 する工事	作業船を使用 しない工事	作業船を使用 する工事	作業船を使用 しない工事
必須	工事实績(同種性・立場)	◎								
	工事成績	◎								
	表彰(優秀技術者)	◎								
	④配置予定 技術者の能 力		○	○	○	○	○	○	○	
オープン	建設系の継続教育(CPD) の実施状況	○	○	○	○	○	○	○	○	
	配置予定技術者の資格	○	○	○	○	○	○	○	○	
	配置予定技術者の年齢	○	○	○	○	○	○	○	○	
	配置予定現場技術者の資格	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑤地域貢献 等	必須	◎		◎						
	オープン	近隣地域内工事の実績	○	○	○					
		工事の確実かつ円滑な実施 体制としての拠点	○	○	○					
		ボランティア活動による地域 貢献の実績	○	○	○					
		災害時に活用できる作業船 の自社保有状況	○	○	○					
		継続的な技術者保有に基づ く信頼度	○	○	○					
		継続的な営業に基づく信頼 度	○	○	○					
施工体制評 価		◎	◎	◎	◎					

# 評価項目毎の配点

評価の視点	評価項目	施工能力評価型（Ⅱ型）									
		施工体制確認型以外 加算点 30点	施工体制確認型 （標準型） 加算点 40点		施工体制確認型 （A型） 加算点 40点						
			作業船を 使用する 工事	作業船を 使用しない 工事	作業船を 使用する 工事	作業船を 使用しない 工事					
必須	工事実績(同種性)の評価	4.0点	4.0点	4.0点	4.0点	4.0点	4.0点				
	工事成績	6.0点	6.0点	6.0点	6.0点	6.0点	6.0点				
	表彰(優良施工・安全施工)	2.0点	2.0点	2.0点	2.0点	2.0点	2.0点				
	使用作業船の保有形態 及び環境性能達成状況		2.0点		2.0点		2.0点				
②企業の施工 能力	施工機械等の自社保有 状況	12.0 点	16.0 点	22.0 点							
	関連分野の技術開発の 実績										
	ISOの認証取得状況										
	建設業労働安全衛生マ ネジメントシステム等の 認証取得状況							2.0点 × 1項目	2.0点 × 2項目	2.0点 × 4項目	2.0点 × 5項目
	下請予定者の表彰実績										
	技術的所見力の評価										
	工事の手持ち状況										
	技術アドバイザー体制 の評価										
技術提案の得点取得率 の評価											

評価の視点	評価項目	施工能力評価型（Ⅱ型）								
		施工体制確認型以外 加算点 30点	施工体制確認型 （標準型） 加算点 40点		施工体制確認型 （A型） 加算点 40点					
			作業船を 使用する 工事	作業船を 使用しない 工事	作業船を 使用する 工事	作業船を 使用しない 工事				
必須	工事実績(同種性・立 場)の評価	5.0点	6.0点	6.0点	6.0点	6.0点	6.0点			
	工事成績の評価	5.0点	6.0点	6.0点	6.0点	6.0点	6.0点			
	表彰(優秀技術者)	2.0点	2.0点	2.0点	2.0点	2.0点	2.0点			
	③配置予定技 術者の能力	建設系の継続教育(CP D)の実施状況	12.0 点	16.0 点	18.0 点					
オプ シ ョ ン	配置予定技術者の資格	2.0点 × 1項目						2.0点 × 1項目	2.0点 × 2項目	2.0点 × 2項目
	配置予定技術者の年齢									
	配置予定現場技術者の 資格									
必須	【港湾土木工事、港湾等 しゅんせつ工事、港湾等 鋼構造物工事の場合】 【上記工種以外の場合】 災害協定等に基づく活 動実績	2.0点	2.0点	2.0点						
	④地域貢献等	近隣地域内工事の実績	6.0 点	8.0 点						
							工事の確実かつ円滑な 実施体制としての拠点			
		ボランティア活動〔港湾 関係に限る〕による地域 貢献の実績					2.0点 × 2項目	2.0点 × 3項目	2.0点 × 3項目	
		災害時に活用できる作 業船の自社保有状況								
	継続的な技術者保有に 基づく信頼度									
継続的な営業に基づく 信頼度										
事故及び不誠実な行為に対する評価		-3.0点又は -1.5点	-4.0点又は-2.0点		-4.0点又は-2.0点					
最大加算点		30.0	40.0	40.0						

### 3. 評価基準の追加・修正等

#### 1) 「企業の施工能力」のオプション項目の追加①

◆【企業施工能力評価】のオプション項目に、企業の「技術アドバイザー体制の評価」項目を追加する

#### 【技術アドバイザー体制の評価】

A評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・九州管内在籍の現場経験豊富な技術アドバイザーを有している。<ul style="list-style-type: none"><li>○配置技術者以外の者で、過去15年間に完成した工事の競争参加資格に示す配置予定技術者の同種工事の施工実績を有する者</li><li>○配置技術者以外の者で、過去15年間に完了した、九州地方整備局(港湾空港関係)における当該工事種別について、現場代理人又は主任(監理)技術者として従事した工事件数が5件以上の者</li><li>○九州地方整備局管内に3ヶ月以上在籍の自社職員で、直接的かつ恒常的な雇用関係があること</li></ul></li></ul>
B評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・現場経験豊富な技術アドバイザーを有している。<ul style="list-style-type: none"><li>○配置技術者以外の者で、過去15年間に完成した工事の競争参加資格に示す配置予定技術者の同種工事の施工実績を有する者</li><li>○配置技術者以外の者で、過去15年間に完了した、九州地方整備局(港湾空港関係)における工事実績について、現場代理人又は主任(監理)技術者として従事した工事件数が5件以上の者</li><li>○自社職員で、直接的かつ恒常的な雇用関係があること</li></ul></li></ul>
—	上記以外の者

## 2) 「企業の施工能力」のオプション項目の追加②

◆【企業施工能力評価】のオプション項目に、「前年度1年間の技術提案について工種別における得点取得率の評価」項目を追加する

### 【前年度1年間の技術提案について工種別における得点取得率の評価】

A評価	工種別における得点取得率が平均取得率以上の者
—	上記以外の者

(欠格・辞退・入札無効(予定価格超過も含む)の案件は、得点取得率の対象としない。)

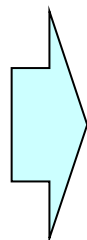


### 3) 「表彰(優良施工・安全施工)」表彰の追加

◆ 【企業の施工能力】の必須項目の『表彰(優良施工・安全施工)』の評価に、新たに「優良担い手表彰」を評価対象に追加する

#### 【現行】

表彰の評価項目
● 局長表彰 (優良施工)
● 局長表彰 (安全施工)
● 事務所長表彰 (優良施工)
● 事務所長表彰 (安全施工)



#### 【見直し】

表彰の評価項目
● 局長表彰 (優良施工)
● 局長表彰 (安全施工)
● 事務所長表彰 (優良施工)
● 事務所長表彰 (安全施工)
● 事務所長表彰 (優良担い手)

## 4) 使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況の一部評価の見直し

### ◆【企業の施工能力】の必須項目の『使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況』の評価において、関門地区の船籍港又は定係港の見直し【試行】

当該工事に使用する作業船のうち、当局が指定する作業船(複数の場合はいずれかの作業船)の保有形態(自社又は共同保有、下請保有)及び当該作業船に設置されている原動機の環境性能達成状況(但し、下請保有の使用予定作業船は、〇〇県内に船籍港又は定係港が所在するものに限る。)

#### 【現行】

##### 下請保有の使用予定作業船の環境性能達成状況

〇〇県内 : 当該港湾が所在する県

#### 【見直し】

##### 下請保有の使用予定作業船の環境性能達成状況

##### 関門地区

下関港及び下関港海岸 : 山口県、福岡県(北九州市)

北九州港 : 福岡県、山口県(下関市)

苅田港 : 福岡県、山口県(下関市)

関門航路 : 福岡県、山口県

関門航路(西側)土砂処分場 : 山口県、福岡県

を基本とする。

## 5) 配置予定技術者の資格について一部評価の見直し

◆【技術者の能力】のオプション項目の『配置予定技術者の資格』の評価において、『国土交通省登録資格』について評価を高くする

『国土交通省登録資格』とは、「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定」に基づき、国土交通大臣が公示するとともに、国土交通省の登録簿に掲載された民間資格のこと。

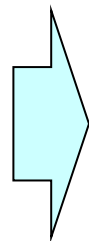
登録簿に記載された民間資格(港湾施設)

- 海洋・港湾構造物維持管理士
- 海洋・港湾構造物設計士

◆【技術者の能力】のオプション項目の『配置予定技術者の資格』の評価において、RCCMの評価について登録部門を設定する

【現行】

配置予定技術者の資格 (RCCM)
●登録部門 なし



【見直し】

配置予定技術者の資格 (RCCM)
●登録部門 <ul style="list-style-type: none"><li>・港湾及び空港</li><li>・鋼構造及びコンクリート</li><li>・河川、砂防及び海岸・海洋</li><li>・地質、又は土質及び基礎</li></ul>

# 6) 「評価しない技術提案の事例」の追加・修正

## 【現行】

番号	分類	工種区分	技術テーマ	評価しない提案内容	判定	備考
11	共通	共通	性能・機能 (コンクリート関係)	生コン工場から現場搬入・荷下ろしまでのコンクリートの温度対策	標準的項目	アジテータ車の現場到着後、荷下ろしまでの待機時間の温度対策として、屋根等を設置する提案は評価しない。
71	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	アスファルトの配合に関する提案	標準的項目	特記仕様書に明示されたアスファルト混合物のアスファルトの種類、骨材の最大粒径、マーシャル試験に対する基準値の変更に関する提案は評価しない。
72	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	中温化剤の添加	オーバースペック	
73	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	屋根付きの材料ストックヤードのあるアスファルトプラントの使用	標準的項目	
74	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	アスファルト運搬時にダンプ荷台への付着防止剤の使用、ダンプ荷台のシート養生、ダンプタイヤへの付着抑制剤の使用	標準的項目	
75	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	ホットジョイント工法による施工	標準的項目	



## 【見直し】

番号	分類	工種区分	技術テーマ	評価しない提案内容	判定	備考
11	共通	共通	性能・機能 (コンクリート・アスファルト関係)	生コン工場及びアスファルト工場から現場搬入・荷下ろしまでのコンクリート・アスファルトの温度対策	標準的項目	アジテータ車の現場到着後、荷下ろしまでの待機時間の温度対策として、屋根等を設置する提案は評価しない。
71	空港	共通	特別な安全対策	供用空港の夜間工事における灯火の破損防止に関する提案	標準的項目	
72	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	アスファルトの配合に関する提案	標準的項目	特記仕様書に明示されたアスファルト混合物のアスファルトの種類、骨材の最大粒径、マーシャル試験に対する基準値の変更に関する提案は評価しない。
73	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	中温化剤の添加	オーバースペック	
74	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	屋根付きの材料ストックヤードのあるアスファルトプラントの使用	標準的項目	
75	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	アスファルト運搬時にダンプ荷台への付着防止剤の使用、ダンプ荷台のシート養生、ダンプタイヤへの付着抑制剤の使用	標準的項目	
76	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	ホットジョイント工法による施工	標準的項目	

## 4. 参加資格要件等の緩和について

### 1) 参加資格要件の緩和

#### ① 施工実績数量の緩和

◆【参加資格要件】の施工実績数量の緩和を行い、企業及び技術者の参加資格数量を少なくする事により参画する機会の増加を図る

### 2) 工事实績(同種性)の施工実績数量等の緩和

工事实績(同種性) [必須項目]								
評価内容	評価段階	評価基準					評価項目	
		評価	施工能力評価型 (I型・II型)	施工能力評価型 (I型) [施工計画重視]	技術提案評価型 (S型) 作業船を使用する 工事	技術提案評価型 (S型) 作業船を使用しない 工事		技術提案評価型 (A型)
平成12年度以降に完成し引き渡しの完了した同種工事の元請としての施工実績	2段階	A評価	4.00点	2.00点	2.00点	3.00点	8.00点	より同種性の高い工事(※1)の実績有り
		一評価	0.00点	0.00点	0.00点	0.00点	0.00点	同種性が認められる工事(※2)の実績有り

※1 実績要件の同種性に加え、「施設」、「工種」、「規模」について更なる同種性が認められる工事

※2 実績要件と同様の同種性が認められる工事

#### ① 施工実績数量の緩和

◆【工事实績(同種性)】について、参加資格要件の緩和に伴い、企業及び技術者の施工実績数量の緩和を図る

#### ② 施設設定の緩和

◆【工事实績(同種性)】の施設設定の緩和を図る

# 5. その他

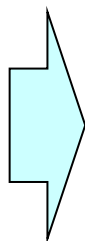
## 発注の見通しの公表

### ◆ 『発注の見通し』のこまめな提示

#### 【現行】

##### 発注の見通しの公表

- 四半期毎(年4回)
- 補正時
- 発注者支援業務



#### 【見直し】

##### 発注の見通しの公表

- 四半期毎(年4回)
- 四半期毎(年4回)に追加がある場合は、毎月1回公表資料の更新を行う
- 補正時
- 発注者支援業務

# 入札説明書等の修正

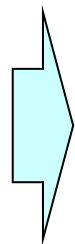
## ◆対象年度の更新

【工事实績(同種性)、工事成績、関連分野の技術開発の実績、技術提案力の評価、災害協定、近隣地域内工事の実績、ボランティア活動】

### 【現行】

- 工事实績(同種性)  
平成11年度以降
- 関連分野の技術開発の実績  
平成21年度以降
- 技術提案力の評価  
平成25年4月1日以降から
- 災害協定  
平成25年度又は平成26年度
- 近隣地域内工事の実績  
平成21年度以降
- ボランティア活動  
平成21年度以降

- 工事成績  
平成21年度～平成25年度完了



### 【見直し】 平成27年4月1日公告より

- 工事实績(同種性)  
平成12年度以降
- 関連分野の技術開発の実績  
平成22年度以降
- 技術提案力の評価  
平成26年4月1日以降から
- 災害協定  
平成26年度又は平成27年度
- 近隣地域内工事の実績  
平成22年度以降
- ボランティア活動  
平成22年度以降

平成27年6月1日公告より

- 工事成績  
平成22年度～平成26年度完了

# 【参考】 多様な入札方式の検討

## 一括審査方式

企業の技術力審査・評価の効率化を図るため、条件を満たす2以上の工事において、提出された技術資料(技術提案等)の内容を同一のものとする事ができる試行工事を検討する。

## 詳細設計付き工事

構造物の構造型式や主要諸元、構造一般図等を確定した上で、施工のために必要な仮設をはじめ詳細な設計を施工と一括で発注することにより、製作・施工者のノウハウを活用する詳細設計付き工事の試行を検討する。

## 特定専門工事審査型

専門工事部分の品質確保が工事全体の品質確保の観点からも重要であり、特に専門工事の技術の伝承が欠かせないが、担い手不足により技術者の高齢化が加速している状況にある。また、受注者から下請負人への適切な支払いを担保することが、下請負人へのしわ寄せを防止する観点からも重要である。このため、専門工事に係る施工計画及び費用について評価する試行工事を検討する。